

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和4年度学校評価計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	唐津市立北波多小学校
-----	------------

1 前年度 評価結果の概要	<p>・「学力の向上」では、アクションプランや校内研を活用した授業づくりの見直しや、授業の中で「書く活動」の位置づけが定着したこともあり、児童の学力も向上しつつある。今後は、小中連携での取組の研究やタブレット活用により更なる向上を図りたい。</p> <p>・コロナ禍のため、予定していた活動は十分にできなかったが、感染対策を取りながらできる限り行事や活動を行ってきた。全ての項目で「概ね達成できた」（B評価）以上の結果となった。職員で共通理解のもと自己肯定感を高める活動や工夫した教育活動に取り組んだ成果とも言える。今後も効果的な教育活動が図れるように、共通理解・共通実践に努めていきたい。</p> <p>・次年度もコロナ禍の中での教育活動が予想されるが、本校の宝である「学校ボランティア」等の活用も推進しながら、教科横断的な教育活動ができるように努めていきたい。</p>
------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2 学校教育目標	<p>自律・協働・創造 ～子どもたちの笑顔と活気に満ちた学校づくり～</p> <p>自律…自ら考え、誠実に判断・決定し、行動する力</p> <p>協働…互いの価値観を理解・尊重し、対話を通し、ともに目的へ向かう力</p> <p>創造…課題に粘り強く取り組み、新たな価値を生み出す力</p>
----------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3 本年度の重点目標	<p>① 確かな学力 ② 豊かな心 ③ 健やかな体</p> <p>④ 安全・安心な学校づくり ⑤ 地域連携の強化 ⑥ 特別支援教育の充実</p>
------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	主な担当者
---------------	------	--------	-------

(1) 共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	・教職員間でマイプランを共有する。 ・国語、算数を中心に、授業の中に書く活動を位置づける。(自分の考えを表す時間やまとめの時間、ふりかえりの時間など工夫して取り入れる)							学び部
	○児童の「問い」を活かす授業の取組	○児童の「問い」を活かす授業を推進できた肯定的な回答をした教師80%以上	・主体的で対話的な学びの創造に向け、「授業づくりのステップ1・2・3」を活用し授業研究に取り組む。 ・一人1回、算数の研究授業に取り組む。							学び部
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○集団の中で積極的に活動したり協力したりできた児童85%以上 ○進んであいさつをすることができた肯定的な回答をした児童の割合80%以上	・「自己肯定感を育てる」というめあてをもって、各種行事に取り組む。 ・縦割り班での遊びや掃除を通して、異学年交流に取り組む。 ・人権教室「かがやきタイム」の充実を図り、「仲間づくり」に視点を置いた取り組みを実施する。 ・委員会やボランティアの児童と共に、朝のあいさつ運動を推進する。							特活部 生活部
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○「困ったことがあれば、先生や保護者に相談できる」と肯定的な回答をした児童の割合80%以上。	・Q-Uアンケートや毎月の「心のアンケート」の結果を週1回の連絡会で情報共有を行うと、共に学級経営に生かす。 ・いじめ防止対策委員会を中心にいじめ防止対策を行う。年2回の拡大委員会を開き、情報共有と適切な対応を行う。							生活部
●健康・体づくり	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●「健康に食事は大切である」と考える児童90%以上	・キャリア教育に関わる諸活動について、キャリアパスポートを系統的に位置づけ、自身の変化や成長を自己評価させる。 ・郷土について学ぶ体験活動をカリキュラムに位置付ける。							保健部
	○「望ましい生活習慣の育成」	○朝の検温、マスク着用を100%にする。	・各学期において、食に関する指導を全クラスで行い、児童の食に対する意識を高める。 ・家庭と連携して、感染症対策をしっかり行っていく。 ・換気、手洗い・消毒、密の回避など感染対策を徹底しながら、教育活動にあたる。							保健部
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●時間外勤務時間の削減と業務効率化の推進	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・業務記録を有効活用し、月毎の時間外勤務の目標時間を設定し、意識を高めていく。 ・校務分掌や教材研究に係るデータの共有化を図る。 ・年休取得日数を昨年度より増やし、定時退勤日(毎週金曜日)の遵守を進め、メリハリのある業務推進とワークライフバランスの意識の向上を図る。							管理部

(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○小中連携の充実と地域連携の強化	○小中連携による学力向上と、地域住民(学校支援ボランティア)・保護者と協働した教育課程の実施	○小中連携・地域連携による取組への肯定的な回答をした保護者・教職員の割合80%以上。	・小中合同推進委員会と研修会の定期的な実施 ・小中相互の授業参観 ・学校活動に合った学校支援ボランティアとの連携を推進する。							管理部
○特別支援教育の充実	○児童の特性を考慮した環境整備(人的・物的)	○チェックリスト(「特別支援教育のスタンダードJP313」)の平均値3.5以上の教職員の割合80%以上。	・特別支援に関する研修会の実施 ・ケース会議の開催、情報共有							特別支援部

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	<p>・</p> <p>・</p> <p>・</p>
--------------------	----------------------------